

第1回ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 平成28年5月28日（土） 10時～12時
- 開催場所 天王台北近隣センター
- 参加者 20名
- 出席者 星野市長、日暮総務部長、大畑企画財政部長、四家市民生活部長、
大谷建設部長、渡辺都市部長 他10人

■懇談要旨

市民：10年前、泉のバス通りで完成した新天王台排水路について質問します。

天王台新排水路は、並木の排水路が完成したら下流に繋げる計画で旧幹線のバイパス排水路として築造されたもので、現在も未完成の状態です。バイパス管の新排水路が完成して下流に接続が完了しますと、旧排水路から新排水路に切り替わります。泉台の旧排水路は道路になっているため、段差があり道路を横断しているため、長年住民は辛抱しています。新排水路が完成すると道路の改良工事が可能になります。その事で住民の生活環境が図れます。

公共施設の維持管理が効率化という面で、旧排水路と新排水路が重複している状態を整理することで将来的に負担が削減されますので、当初の計画のとおり、新バイパス管を下流に接続していただいて、なるべく早く完成していただきたいです。

治水課長補佐：泉のバス通りの下に管内貯留管として3mのボックスカルバートが入っています。現状は旧幹線と貯留管が並行して泉地区の水害に対応しています。また、道路で冠水したのが一時的に貯留管に流しています。

天王台地区、柴崎地区併せて大きな浸水対策として、柴崎後田の下流の田んぼから整備していきます。幹線整備については、上流に向かって天王台地区5・6丁目の水を取り込めるようになってから、大幅に泉地区を改善していきます。重複している施設については、まずは天王台地区の水を柴崎幹線に接続を最優先にして進めていきます。その後、幹線、旧幹線、管内貯留管について、今後の課題として検討をさせていただきます。

市民：今回は、優先順位が高かった、並木よりも先に新排水路を造り、上流調整池

を造る。ということで進んでいましたが、その後並木を行うことになり、並木の方が早く終わってしまった。並木は出来ているのでバイパス管を繋げることはできるので、そのような趣旨で下流に繋げていただきたい。

そもそもなんで遅くなるのか問題ですし、それに下流が影響されるのが問題です。並木は数年前に完成しているが、これ以上待たせるのは納得がいきません。

治水課長補佐：新バイパス管の整備を進めた10年前は天王台の上流に調整池を作る予定でした。その後、並木の排水路を改修していくのに現状の2/3改修したが残りは住宅が込み入っていて工事ができませんでした。また、天王台の上流の調整池は反対があつて工事ができなかった事により、排水地区の見直しをして柴崎地区に流すことで軽減することと、最下流の樋管を国と共同で事業を進めることで経費が安くできました。

市長：天王台の水害解消のため、当時計画をしていた中で泉の管内貯留管と調整池の完成をめざしていましたが、残念ながら上流の調整池は周辺住民の同意が得られなかったため、手がつけられない状況でした。全然工事が進まないの、上流の調整池を造らずに、水害を解消させるため、後田樋管の改修と4号排水路から利根川に流すよう拡幅工事をして、今年から堤防の強化工事と後田樋管を改修工事していきますが、そこへ柴崎地区や天王台地区から水を持って行くため下流から上流に向かって工事を進めていきます。

並木地区についても、すべてが終わっているわけではありませんが、水害工事は莫大な費用と期間が掛かりますので、下流から着実に進める工法に変えましたので、もう少し泉地区の方にはお待ちいただけるようお願いいたします。

市民：介護と教育について質問します。

①介護施設を沢山造っていただけるとはいいが、介護職員の質についてはどうか。高齢者支援課へ行って、職員の質の向上をするように言ったが、できないと言われた。

施設間の情報の交換をしてもらいたい。また、先生に徘徊しないで良い方法を聞いたが、回答がもらえない。

②教育について、現在英語の教師で準1級を持っているのが、中学校で30.

3%高校で39.2です。私としては、準1級以上の資格を持っているのが、必須条件とする。持っていなければ2年以内に取得する。

市長：介護施設ですが、介護制度上400人以上の老人の待機を解消するため施設を計画的に整備している。特別養護老人ホームへの入所は要介護3以上ですが、現実的には、将来を見て申し込んでいる。本当に必要な方は100人から150人くらいです。今年度に聖人会病院の脇に特別養護老人ホーム100床が出来ますが、ショートやデイサービスもできるので、これでだいぶ待機が解消されます。

質の向上については、職員が言ったのは自分たちができないから、言ったと思います。現場の経験年数に達していない人がいるでしょうが努力していると思います。また、皆さん研修はしていると思いますが強制はできません。情報交換については、施設長とその下の職員については行っていると思いますが、全職員で見るとどうかと思います。

市民：介護を実施しているが、徘徊にならないよう職員に聞いても回答が返ってこないのが現状です。

市長：①特別養護老人施設は、徘徊しないように入口が2重になっていて、タイムラグがあります。このように出来る施設はよいのですが、出来ない施設や個人の住宅が心配です。

このような部分は、施設のドクターに話をしても解決策にはなりません。施設としては徘徊しないように造っているのですが、そこのドクターに意見を求めても多分、回答は無いと思います。

介護予防の中での認知症の講習会は高齢者支援課や健康づくり支援課で実施するが、施設側では介護予防の中での徘徊はしていないので意見を求めても職員は忙しい中なかなか時間がとれない。

自宅で介護している方は施設より高齢者支援課には今後どのような対応をするのか質問をしたら良いと思います。

②教育については、教育委員会に意見として伝えるが、ALTは各学校に配置しているが19校までは配置しておりません。子ども達の学力向上するために行っていく。

市民：先生の質の向上をしなければならない。

市民：親水広場について、施設の全容を説明していただきたい。また、市民の意見がどの様に反映されたか、次の項目について回答をお願いします。また、ランニングコストも聞きたい。

①周辺道路の交通手段の改善。

②環境に考慮した飲食施設でのランニング利用者のシャワー室と更衣室の整備について。

③食育の観点から健康福祉総合計画にマッチした研修室の活用。

市長：水の館の工事は、約6億7千万円の予定です。内訳は老朽化対策工事で4億4千万円（エレベーター交換や空調設備、外壁工事など）です。千葉県からすでに2億4千万円を頂いています。残りの2億3千万円については、1階の農産物直売場と飲食店の改修工事です。その内の1億円は農林水産省から農村、漁村活性化として補助を受けながら工事をします。

市民からの意見としては、改修工事をするので色々な要望や意見をいただきました。その中で近くに鳥の博物館があるので、駐車場の拡張という意見をいただきましたので、鳥の博物館の駐車場脇の田んぼ2枚を来春に駐車場として整備して、半分を多目的広場として整備します。

更衣室とシャワー室については、現在、建物の外側にトイレが2つありますが、1つを潰して、男女それぞれの更衣室とシャワー室にします。

また、千葉県から頂いた条件としては10年間水環境啓発施設として使用をお願いされています。

食育としては、手賀沼の水質の観点から取組を進めますが、手賀沼周辺には田んぼや畑がありますので、農産物直売所やオープンカフェを作ります。直接食育をPRすることはないですが、当分は地元の野菜を中心にしながら展開をしていきます。

また、3階は環境経済部が事務室として水の館に入ってきますので、庁舎管理とします。

ランニングコストとして毎年県は指定管理者として環境財団に毎年7千万円掛かっていた。また、維持管理として1千万円の改修費用と併せて計8千万円

掛けていました。市としては5千万円弱で計上しています。環境経済部が水の館に移転することで本庁分館は会議室として使用します。

市民：東高野山自治会です。自治会区域内的の公園と市営住宅の法面の除草対策について伺います。雑草が伸びると害虫や不法投棄が発生します。安心安全で暮らしやすい環境づくりに取り組んでいます。雑草対策にも取り組んでください。書面を市に提出しています。

また、自治会館の修繕補助金制度について聞きたい。当会館も築11年がたったので修繕を予定しているが、築何年で補助金の対象になるのかお伺いしたい。

都市部長：公園の雑草の除草については、年間のスケジュールを組んで実施しているが、現地を見て必要に応じて行っています。

建設部長：法面の道路は、天王台6丁目地区から我孫子中学校の所だと思いますが、来週現地を見てひどいようであれば早急に実施します。

市民生活部長：自治会館の修繕は、新築から20年経ってから修繕補助金の対象となります。

市民：笹山自治会ですが、建物は自治会の物ではなく借りている場合は修繕補助金の対象になりますか。

市民生活部長：借りている場合は基本的には大家さんに修繕をお願いする。市は賃貸（家賃）の部分だけの補助しかしていません。

市民：建物ではなくバリアフリーなど敷地内全部が大家さんですか。

市民生活部長：そうです。

市民：浸水対策ですが、天王台6丁目地区は、平成29年度まで2ヵ年計画で暫定浸透貯留施設の築造工事を実施するが説明会の開催をお願いします。説明会では、貯留施設の役割としくみ、貯留施設と既存の排水管の関係や暫定浸透施設の完了後浸水の改善等の説明をお願いします。

また、下水道対策として国道356号線沿いの本下水道計画について、下水道課は未定ですとの事です。長期的な課題ですが、暫定改革として浄化槽区域のU字溝の計画的な清掃をお願いしたい。

建設部長：天王台6丁目の工事は、昨年度から実施しています。今年度も行ってい

きますが、業者が9月中頃決まります。今の予定ですと11月頃自治会等に説明会を開催する予定です。

下水道対策ですが、356号線について下水道課では未定となっています。下水道管（356号線）については5カ年計画で行っていきます。国の補助金をいただきながら実施するが予算が絡みますので、いつ実施するかは言えません。着手して4年間で工事は完了する予定ですが、いつ着手するかはわかりません。また、U字溝の清掃場所を教えてください対応します。

市民：重点施策の中でもっと重点的にやってもらいたいことがあります。

保育園の卒園後にもっと力を入れてもらいたい。いじめ対策や小中一貫教育事業を全国にPRをお願いする。

それから英語とプログラミングの2点に力を入れてもらいたい。それにより福嶋市長の時から続いている若い世代を引っ張り込む施策を拡大してもらいたい。

市長：我孫子市は保育園の待機児童ゼロは今年で30年になります。福嶋市長の前から私まで施策が続いています。市の西側には子どもは多いが、東側は少ないので、必要な我孫子と天王台に保育園を造っています。

保育園以降については、学校教育について教育委員会で教育長と教育委員が意見交換をして教育委員が理解してくれれば、後は私が予算を付けていけば良いのです。

小中一貫校は中一ギャップを解消するのに非常に効果が出ている。既に日本全国で1,000校以上取り入れています。昨年から文部科学省も小中一貫について成果が出ているので市長達に進めています。我孫子市も2年間の準備期間を経て布佐中学校区でモデルとして実施しました。中一ギャップを解消していること、学力向上につながること、併せてICT教育も小中一貫校をスタートした時にICT教育もサポート教育も含めて配置していきます。残りの5中学校もICT教育を実施するに当たり、小中一貫校を実施したら、機材とスタッフを付けていくよう誘導しています。来年度は目標として2校教育委員会と話し合っています。

また、英語教育については、ALTとして補助教員を付けたりアイパットな

どを利用しています。布佐中学校区はニュートン（科学雑誌）に理科教育など協力してもらい事業展開をしています。他の中学校区でも今後4年ぐらいには学区の見直しも含めて小中一貫校を全校で実施していきたいと思っています。

市民：中一ギャップについて

市長：小6から中一になった時、いきなり不登校になってしまう。30日以上休んでいる子は小学校で30人から40人、中学校では100人から140人毎年います。小学校は1人の先生が教えるが、中学校になると色々な先生が教えるので、子ども達はついていけない場合がでてきます。中一になった時に大きなギャップがあちらこちらで起きています。そういう現状を抑えるのに非常に有効な手段として小中一貫校が取り上げられている。小学校の段階から中学校の教師が専門的な授業を実施することで、中学校になってもついていけるので学力向上になるということです。

市民：水の館について、7億円の事業費があるが、一度ペンディングしてもらいたい。議会でも承認されているが、幾つか状況が変わってきた。

①柏にスーパー（アリオ）ができた。②手賀大橋の向こうに柏の農産物販売所があるが大きくなる計画もあるし、今回の販売所は危険ではないか。

6月の議会では、今回の工事が議題として出ていること。また、補正予算に経済効果を調査する予算が出ているが、もう一度新たな前程でどうい影響があるのか、果たしてきちんとやっていけるのか見直しをしていただきたい。全体が変わって来ているので、もう一度検討をお願いしたい。

市長：今、指摘された事は、3月議会でも色々指摘がありました。それを踏まえて6月議会の補正予算で商業者へのアンケート調査、農産物直売所が出来る物を踏まえて調査をしようと予定しています。商業圏については、アリオができましたが、我孫子市内の商業者にどのくらい影響があるか。大規模、中規模、小規模商業者にアンケート調査を年2回実施したい。

また、消費者に対しても動向調査をしたい。アリオへの影響も含めてどういところで購入するか、色んな事を調査したい。

柏の直売所については、全体的にまだ計画が出来ていない。おおまかな計画は聞いていますが、具体的になっていません。実際に直売所はどの位アリオの

影響があるか、アリオは巨大な八百屋ではありません。我孫子の直売所にどの位、影響があるか調査をしたいと思います。

工事については、築20年以上経っているので老朽化工事をいずれやらないといけませんので、エレベーター、空調工事、外壁工事等は必要な工事ですので実施します。ご指摘は直売所についてですので、2、3階は先送りする必要はありません。

1階の直売所には、国から1億円補助があり、来年度以降になると全部が市費になります。ペンディングするのであれば直売所を辞めることになった場合について検討する。

市民：熊本地震が起きたが、最近我孫子でも時々地震が起こっているので防災対策について聞きたい。

①弱者対策やアレルギーを持った子どもへの対策について。

②ボランティアの管理については、どういうふうにボランティアに指示するのか。また、責任者の予定はどうか聞きたい。

市民生活部長：我孫子市では、5年前に地域防災計画を見直しました。また、弱者対策については、自力で避難できない人の名簿を作成します。また、必要に応じて、自主防災組織を設けてそのような人を避難所に連れていくなど、地域でどのように対応していくか考えています。

アレルギー対策は、防災計画の中で示してありますので、マニュアルに従って対応していきます。

また、ペットについても同様に対応していきます。

ボランティアの管理は、社会福祉協議会がボランティアセンターを立ち上げて実施していきます。また、責任者については、市は対策班を作って、それぞれが責任を持って行っていくようにいたします。しかし、行政だけではできませんので、皆様のご協力をお願いします。

市民：自治会の集まりでは、側溝の清掃の要望があるのでお願いしたいが、何処が窓口なのでしょう。

建設部長：側溝の清掃の窓口は、道路課になります。市内では500Km以上の道路がありますので計画的にはなかなかできませんが、基本的には自治会さんに

お願いしていますが、蓋など重いときなどは、ご相談ください。

市民：ゴミゼロ運動や世界禁煙デーを踏まえて、天王台駅南口に喫煙者や迷惑駐車が多い。特に女性の方が多いです。タクシーやバスが動かない。まずは、自分たちが出来る事は自分たちでやりましょう。出来ないことだけ市にお願いするということです。（意見）

市民：2020年東京オリンピックの取り組みについて

①市長に5月20日付けで意見書を出した。松戸市は4人体制で2年前から先行しているが、東葛地区6市の状況はどのようになっているのか。4年後来るので、乗り遅れないように組織づくりを強化していただきたい。東葛の協議会で協力して聖火を通してもらい、東京湾ラインと東葛ライン2路線で必ず走らせてもらいたい。詳細については意見書を出します。

市長：松戸市の組織が出来ていても動きとしては、東葛6市が共同歩調で実施しているので、松戸市だけが進んでいるわけではありません。東葛6市の情報交換では、市長だけではなく部長、課長、担当課も情報交換をしながら毎年地元の国会議員、県会議員に対して東葛エリアに聖火リレーを通すことを共通項目として要望しています。

我孫子市は東葛管内にあり、東日本大震災の被災地でもありますので、6人の首長の共通の考えでは、聖火が被災地を通るようにしたいということです。また、我孫子市ではソフトボールがオリンピック種目になった場合、JBFで関連のある、台湾チームが出場できればキャンプ地として我孫子市に誘致をしたいと考えています。近隣市も同様の考えのようです。いずれにしても、組織をつくる必要があります。

市民：①街路樹の剪定については夏に実施しているが秋にしてもらいたい。

②街路樹が街路灯を邪魔している、特に天王台駅の北口の交番からバス通りに掛けて街灯の関係を改善してもらいたい。

建設部長：街路樹は、市内に約4千2百本あるが適切な管理をするには、夏と冬に剪定するのが理想ですが、予算上3年に1回しかできませんが、天王台の駅前から三小に行く通りについては、現在剪定する予定です。

保育園の通りは、確かに街路灯と街路樹が接近しているので、今後検討して

いきます。